

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)	第6期相模原市中央区区民会議小委員会（グループ3）		
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時	令和3年6月30日（水） 13時30分～15時30分		
開催場所	市民会館4階 第3中会議室		
出席者	委員	5人（別紙のとおり）	
	その他	0人	
	事務局	6人（中央区長、他5人）	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">1 議題</p> <p style="text-align: center;">第6期中央区区民会議重点行動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討取組①「地域ネットワークの充実」</li> <li>・検討取組②「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」</li> </ul> <p style="text-align: center;">2 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>		

主な内容は次のとおり。

## 開 会

委員の委嘱：丹波委員

区長あいさつ

事務局から、運営に係る事務説明を行った。

一傍聴希望者 なし

## 1 議題

事務局からグループワークの進め方について説明を行った。

また、8月6日（金）に全体会を予定しており、本日のグループワークの進み具合によっては、7月中にもう1回グループワークを実施する旨を説明した。

中央区区民会議重点行動のグループ3で議題となっている「地域ネットワークの充実」及び「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」の具体的な取組について、それぞれの委員で検討して意見出しを行った。

### グループ3-①「地域ネットワークの充実」

(坂本委員)

○自治会未加入の人たちのネットワークがない。各情報が自治会員しか届かないので、未加入者にもどうしたら伝えられるかが課題である。

個人情報があるので把握が難しく、行政でつないで欲しい。

子どもたちと高齢者のネットワークをつくるのがよいのではないか。

市の広報は新聞をとっていない世帯が多く、市の広報などからの情報が届かないため、広報全戸配布のあり方を検討して情報を伝える必要があるのではないか。

(清水委員)

○保育園によっては、保育園入園の際に自分の住んでいる地域の意識づけのために自治会はどこかを聞いている。

新聞をとっている世帯は少なく情報発信ができないため、上溝地区の一部では、子育てや高齢者の情報を便りとして有償ボランティアが配布している。

(猿渡委員)

○子育てガイドをもっと活用できるのではないか。

自治会の予算がどのように使われて、どのようなかたちで地域に貢献しているかなど、自治会の活動を知ってもらう必要がある。自治会の掲示板をもっと利用できないか。

(丹波委員)

○清新地区は小学生と80歳以上を把握して災害時等には支援する体制をつくっている。

自治会は色々やっても、加入は個人の自由になっている。

広報の情報はすべての人が必要としていない。今の人は必要な部分のみが欲しい。

近所づきあいのような、お互いに声をかけられる関係が大切ではないか。

(斎藤委員)

○自治会にこだわらず、ネットワークを連携していく。

一人暮らしの学生、一人暮らしの中老年、未就学児のいる世帯、新婚世帯、外国人など近所と繋がりが少ない世代と繋がり持てる仕組みがあるとよいのではないか。

市の情報が届かないので広報の配布方法を検討する必要があるのではないか。

普段から顔を合わせてないと分からないことも多い。

子ども達の支援がキーポイントではないか。

まとめ

○広報のあり方を検討する。全戸配布だと費用がかかるので、区民全体に情報が届くような方法を考える。

○各地域・自治会での取組や情報を自治会の掲示板などを利用してお互い共有する。

○FMさがみで中央区の番組があるので、役立つ情報を提供したり、回数を増やしたりはできないのか。

グループ3-①「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」

(坂本委員)

○中央区は新たな緑地を増やすことは不可能なので、今ある自然環境を残すことを考えなければならぬ。街路樹は電柱と一緒に立っていて、電柱が街路樹に巻き込まれて事故の原因になり、街路樹撤去の原因になっているため、将来的に電柱を地中化にして街路樹を残していけないか。

個人の庭もなくなっているため、植栽を増やすことができない。

(斎藤委員)

○電柱を地中化すると地震にも強くなる。

中央区は緑地化する場所がないが、補給廠で行った桜の植樹を少しずつ進めることはできないのか。木を増やすとCO<sub>2</sub>の吸収にもつながり、生物多様性の保全にもつながる。また、桜だけではなく地域の生態系に合わせた植物を広げたほうがよいのではないか。

自然を守るためには温暖化防止を進めなければならず、行政で進めることも必要だが、個人でもできることがあるので、講座や啓発を行ったほうがよいのではないか。

公園で地域清掃をしているが、草や落ち葉で育つ生物もいるので、すべてをきれいに清掃するだけではなく、草や落ち葉を残すことも必要な場合がある。

個人の庭や公園に植える植物を地域に合った在来種を植えていくことが必要ではないか。そのためには、どのような在来種があるかなど情報発信していく必要がある。

(丹波委員)

○「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」は、美化活動ではないかと思う。

清新地区では、桜並木を定期的に清掃している。そうすることにより人のつながりができる。

自然を残すことも重要だが、草木が茂ると防犯上危険になる場合もある。

(清水委員)

○川の問題として鳩川、道保川は草の手入れがされていないため、堆積物が多くなり洪水など災害につながる不安がある。また、道保川ではザリガニなどの外来種が増えて蛍が減ってきている。

#### まとめ

- 温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などをNPOと連携して地域で開催する。
- 庭や公園に植える花や木の在来種リストを作成して情報発信を行う。
- 補給廠の跡地に木を植樹して緑地を増やす。
- 街路樹を守るために電柱を地中化する。(一か所だけでも)

取組については事務局がまとめたものを郵送し、ご意見があれば連絡をしてもらうこととなった。

#### 閉会

次回は、8月6日(金) 予定しているが延期の場合もある。事務局あいさつの後、閉会。

#### 第6期相模原市中央区区民会議小委員会(グループ3) 委員出欠席名簿

No.	氏名	所属等	備考	出欠席
1	斎藤奈美	特定非営利法人さがみはら環境活動ネットワーク会議		出席
2	坂本洋三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
3	猿渡達明	公募委員		出席
4	清水洋子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
5	志村勝美	田名地区まちづくり会議		欠席
6	丹波晴道	清新地区まちづくり会議		出席
7	原田克也	一般社団法人相模原市医師会		欠席
8	山口信郎	大野北地区まちづくり会議		欠席